



中植 昭彦

一、火災報知器の設置について 二、高齢者の安否確認について 三、能勢町の活性化について

火災報知機の設置について

問 火災報知器は消防法の改正により、設置の義務が課せられているが、本町の設置の状況について伺う。

答 H18年6月より改正消防法、能勢町火災予防条例により義務化がなされたところである。設置の状況であるが、条例施行後、新築住宅については設置指導を行っており、既存住宅についても啓発運動により設置を呼び掛けているところである。

問 住民への周知について伺う。

答 広報のせへの掲載、リーフレットの全戸配布、横断幕の設置等、住民の皆さんに周知を行っているところである。今後についても区また消防団の協力も得ながら継続的に啓発を行ってまいりたい。

問 設置について他の自治体では助成、共同購入など実施している自治体

もある。本町も実施してみているか。

答 助成については現在のところ考えはない。共同購入については、研究検討してまいりたい。

高齢者の安否確認について

問 高齢者の安否確認について伺う。

答 社会福祉協議会が実施している高齢者のみの世帯、障がい者のみの世帯を対象としたふれあい給食サービスの配食の時サービスを利用できない方についても、社会福祉協議会職員による安否確認を行っている。また民生委員による訪問、地区福祉委員会の友愛訪問活動においても高齢者の安否確認を行っている。

問 緊急通報システムの設置状況について伺う。

答 町内で19件の設置がある。

問 設置が少ないように思いますが、周知について伺う。

て伺う。

答 民生委員に制度について説明はしている。また、対象と思われる方が福祉係等の窓口に来られた場合に制度の説明はしている。

問 設置について助成を

してはどうか。

答 NTTに福祉料金で提供をお願いし安価で導入できるので、助成は考えていない。

問 現在のシステムは、ひかり電話に対応していない、一般固定電話を使用しているため外出先では利用が出来ない等、本町の状況を考えると問題があるように思います。携帯電話等を利用したシステム等導入をしてはどうか。

答 情報収集しながら、研究、検討してまいりたい。

質問3の能勢町の活性化については、紙面の都合上割愛いたします。

一般質問



原田 健志

一、農業について 二、教育について

農業について

問 町内の農業振興・支援について、農家の田畑の規模だけではなく、年齢や将来の取り組みレベルを自己申告していただくなどしてメリハリをつけた施策は出来ないか。

答 町内の農業振興・支援については、農家の田畑の規模だけではなく、年齢や将来の取り組みレベルを自己申告していただくなどしてメリハリをつけた施策は出来ないか。

問 どうしても行政は、

公平性・全般的というもので見てしまう。レベルアップ、安全安心の取り組み支援策として現在もやっているが更に推進していくのが良いと考える。農家さんに頑張ってもらえる方策は、提案の事も配慮に入れた中で考える。

問 特産農産物での加工品開発も視野に入れていくのならば、中長期的にトマトに取り組む事は兎も角として、もつという異なる農産物を検討していくことも必要ではないか(例えば、獣被害が少

ないと思われるニンニクやタカノツメなど)。

答 能勢の気候風土に見合った形で、加工品・代表的農産物となる物としてトマトが検討の中で上がってきたものである。さりながら提案の件は色々な農産物を検討する、研究もしていこうと思う。

教育について

問 授業風景を観させていただく機会があったが、現状授業で大人数の良さが十分に発揮できていると考えるか。

答 今回の研究授業は色々な取り組みを公開するスタイルであったが、大人数学習の良さという観点では十分ではなかったかもしれないが、研究目的・目標に応じた教育内容が展開されていた。

問 子ども達の教育環境として、多人数が必要だと考えられているならば、現小規模校をどう考える

か。例えば東三校を先行して統合するなど、児童達の教育環境を早急に整える必要があるのでは。

答 話が、まとまるなら結構だか難しいと思う。三校交流の充実是指導していきたい。

問 (町長に)将来他の自治体と広域合併するような事があった時、能勢の学校がクラスしかないような状態に在ったら能勢町の中の一校を守るべきか、その先の事を考えるべきと思うか。

答 その時の状況によって能勢の中だけじゃなしに他地域からも行き来もし、どういう校区になるか分かりませんが、そういふ事は積極的にやるべきだと思っております。

